



庁舎問題に関する取り組み～vol.6～

記事に関する問合せ先

庁舎・交通体系対策室…☎ 62 - 5677

庁舎に関する意識調査（アンケート）の主な結果について

本年1月に実施した「庁舎に関する意識調査（アンケート）」の結果についてお知らせします。

なお、紙面の都合上、調査項目の主なものを抜粋し掲載しています。また、このアンケートにおいて得られた結果は、本年度設置予定の新庁舎施設整備等審議会において、新庁舎建設に係る基本計画の策定及び支所のあり方、地域活性化策等の検討を行う際の参考資料として活用することとしています。

(1) 調査目的

本庁舎建設の取り組みについて、本庁舎の位置の変更は議決されていますが、本庁舎の位置以外の事項である、事業の具体的な開始時期、本庁舎の建設内容、庁舎位置が変更することに関するさまざまな対応手法等は、今後検討していくことが必要であり、これらの検討に関し、市民の皆さんの意見等を把握、分析するために実施しました。

(2) 調査対象

18歳以上の全市民から無作為に抽出し、3,000人を対象。

(3) 調査概要

- 調査期間：平成27年1月9日～23日
- 配布・回収方法：郵送による配布・回収
- 配布数・回答数：配布数3,000票、回収数1,514票（地区別の回答数は【図1】のとおり）
- 回収率：50.47%

【嘉麻市庁舎に関する意識調査（アンケート）の発送及び回収状況】

地区名	実発送数	回収数	回収率
山田地区	696人	335人	48.13%
稲築地区	1,232人	595人	48.30%
碓井地区	413人	200人	48.43%
嘉穂地区	659人	363人	55.08%
地区不明	0人	21人	-
合計	3,000人	1,514人	50.47%

※<問2>お住まいの回答数より集計

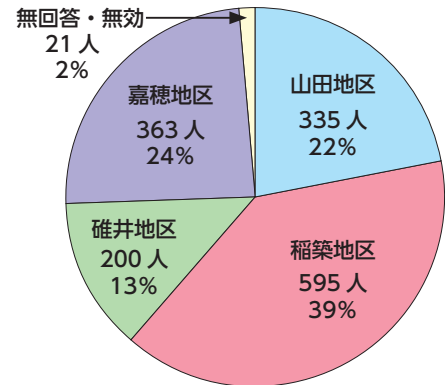
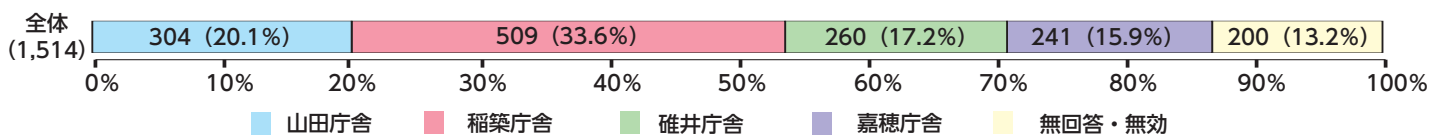


図1. 地域別回答数の内訳

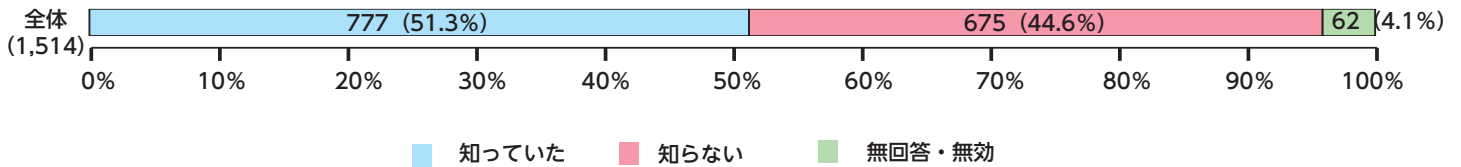
(4) 調査結果（主なものを掲載）

Q 平成26年1月～12月の間に一番多く利用された庁舎《問5》



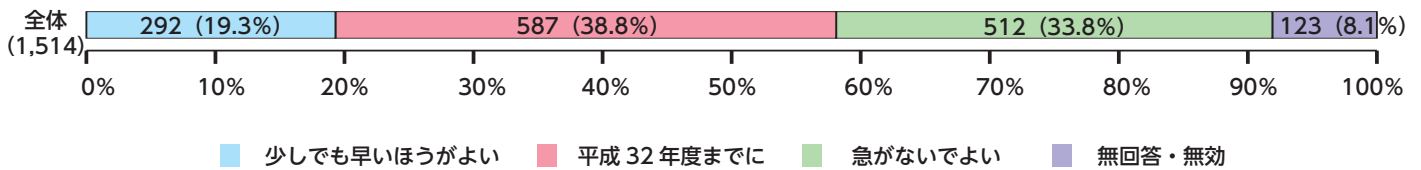
各庁舎別の利用状況は、稲築庁舎が509人（33.6%）で最も多く、次いで山田庁舎が304人（20.1%）、次に碓井庁舎が260人（17.2%）、最後に嘉穂庁舎の241人（15.9%）となっています。

Q 本庁舎の位置を変更する条例に対する認知度《問9》



本庁舎の位置が「現在の碓井庁舎から稲築多目的運動広場（稲築高校跡地）」に変更する条例が議決していることの認知度は、「知っていた」が777人（51.3%）、「知らない」が675人（44.6%）となっています。

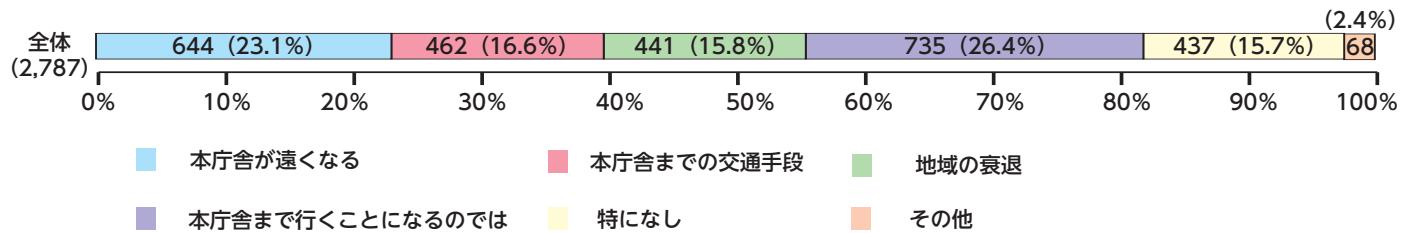
Q 新庁舎が建設される際の適切な建設時期《問10》



本庁舎の建設時期は、「平成32年度までに行った方がよい」が587人（38.8%）と最も多く、次いで「急がないでよい」が512人（33.8%）、「少しでも早いほうがよい」が292人（19.3%）となっています。

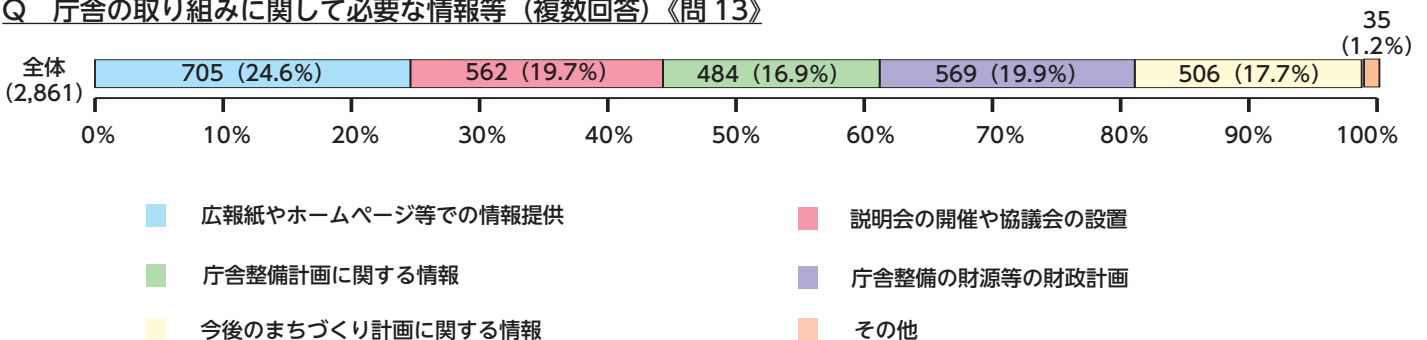
また、合併特例債の期限である平成32年度までに実施を望む意見が879人（58.1%）となっています。

Q 分庁機能の集約による各庁舎の縮小に対する不安・不便等（複数回答）《問12-1》



分庁機能の集約における各庁舎の縮小に対する不安や不便を感じる点は、「本庁舎まで行くことになるのでは」が735件（26.4%）で最も多く、次いで「本庁舎が遠くなる」が644件（23.1%）となり、次に「本庁舎までの交通手段」が462件（16.6%）、「地域の衰退」が441件（15.8%）、「特になし」が437件（15.7%）となっています。

Q 庁舎の取り組みに関して必要な情報等（複数回答）《問13》



庁舎の取り組みに関して必要な情報等は、「広報誌等の情報発信」が705件（24.6%）と最も多く、次いで「財政計画の情報」が569件（19.9%）、「説明会や協議会の設置」が562件（19.7%）となり、次に「まちづくり計画の情報」が506件（17.7%）、「整備計画に関する情報」が484件（16.9%）となっています。どの情報についても同程度の割合で推移しています。

また「その他」の主なものでは、「防災関係」や「公共交通関係」に関する情報提供を求める意見がありました。

※ 庁舎に関する意識調査（アンケート）結果の内容は、本年4月中旬から公表しています。詳細を確認されたい場合は、ホームページ又は、各庁舎の情報コーナーにて閲覧できます。